

保育所・幼稚園・こども園及び小・中学校の  
**保護者向け寒河江市学校施設  
整備計画説明会**

寒河江市教育委員会  
学校教育課学校再編整備室

# 学校施設整備計画について

## 小中学校

### 学習・生活の場

学習・文化・スポーツなどの  
活動の場

災害発生時：避難所

## 課題

### 施設の更新時期

少子化による児童  
生徒数の減少

計画期間：令和4年度から令和23年度まで

対象施設：小学校9校、中学校3校

# 学校施設整備計画 ロードマップ

	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19	令和20	令和21	令和22	令和23										
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041										
寒河江小学校																														
南部小学校	<p><u>ご意見を頂いて検討し、</u> <u>変更することもあります。</u></p>										<p>新校舎を建設し統合することを検討 ※1</p>																			
寒河江中部小学校																					<p>新校舎を建設し統合することを検討</p>									
柴橋小学校																														
西根小学校																														
三泉小学校																														
高松小学校																														
醍醐小学校																														
白岩小学校																														
陵南中学校	用地選定 用地買収 用地造成 測量設計 建設																													
陵東中学校		<p>新校舎を建設し統合（建設予定地は検討中）</p>																												
陵西中学校																														

※1：児童数の動態や社会情勢の変化により、寒河江小学校を陵東中学校跡地の新校舎への統合、南部小学校を寒河江中部小学校と柴橋小学校の統合校へ統合することも検討していく。

# 説明会等でいただいたご意見について

## ● 多くのご意見をいただいた点

### (1) 市民への周知や説明不足

- ・ 保護者や地域の意見をもっと聞いて計画に反映させるべき

### (2) 小・中学校の統廃合と地域の活性化、公共施設の配置の問題

- ・ 学校がなくなると地域が廃れる
- ・ 陵西学区の学校存続

### (3) 小学校を2段階で統合する場合に小学校と中学校とで統合が続くことによる子どもや保護者の負担増

- ・ 小学6年生と中学2年生で統合を経験することになる

### (4) 中学校の「1校案」に対して「2校案」の検討

- ・ 「1校案」は、生徒数が千人規模で大きすぎる
- ・ 建設予定地、予算は？

# 説明会等でいただいたご意見について

- ご意見や不安なこと、心配な点

- ① どんな子どもたちを育てたいのか？
- ② 規模が大きくなると「いじめ」や「不登校」の増加が心配。
- ③ 小規模や複式学級によさもある。
- ④ 特別支援学級への対応は適切に行われるのか？
- ⑤ 通学方法（通学時間やスクールバスでの送迎等）はどうなるのか？
- ⑥ 統合前の準備にはどのようなものが必要か？
- ⑦ 放課後児童クラブ（学童）はどうなるのか？
- ⑧ 部活動はどうなるのか？
- ⑨ コミュニティ・スクールについて

## (1) 市民への周知や説明不足

- ・ 保護者や地域の意見をもっと聞いて計画に反映させるべき

- ⇒
- \* 第1回地域説明会等の開催
  - \* 寒河江市公式YouTubeチャンネルへの説明動画
  - \* 幼稚園や保育所等の保護者への説明動画視聴案内
  - \* 第2回地域説明会の開催〔10/12～10/26〕
  - \* 市議会（3月・6月・9月）での答弁

様々なご意見をいただいておりますので、計画の一部変更も考えながら、時間をかけて検討したいと考えています。

## (2) 小・中学校の統廃合と地域の活性化、公共施設の配置の問題

- ・ 学校がなくなると地域が廃れる
- ・ 陵西学区の学校存続

### (これまでの説明会等でのご意見)

- ・ 地域から学校がなくなると地域が廃れるから、統合には反対。
- ・ 統合には、賛成だが、時期を慎重に検討してほしい。
- ・ 学校がなくなることではなく地域の核がなくなる。
- ・ 寒河江市全体で地域の子どもを育てていく考え方もある。
- ・ 子どもの数が少なくなったから統合するだけではなく、まちづくりそのものとして考えていかなければならない。
- ・ 学校をなくすのではなく、維持する方向で考えてほしい。

学校は、地域にとって存在意義が大きく、地域の中心的な役割を担ってきた歴史があります。学校がなくなることにより、地域が活性化を失うことはあってはならないと考えており、統合後の校舎の利活用を含めて、市内全体のバランスを考慮して公共施設の配置なども検討していかなければなりません。

### (3) 小学校を2段階で統合する場合に小学校と中学校とで統合が続くことによる子どもや保護者の負担増

- ・ 小学6年生と中学2年生で統合を経験することになる

⇒ \* 7月の授業参観等を利用した保護者説明会の実施  
\* 該当小学校（西根小・三泉小・高松小・醍醐小・白岩小）のPTA役員による2回の検討会の実施

#### (これまでの説明会等でのご意見)

- ・ 小学校の2段階統合は、子ども・親ともに負担が大きい。
- ・ もっと多い人数で切磋琢磨したり、もまれたりしてほしい。
- ・ 統合するなら1回でいい。新しく学校ができてからでいい。
- ・ 統合するなら早いほうがいい。
- ・ 統合の必要性はわかるが、時期を慎重に考えてほしい。
- ・ 陵西学区に学校を残してほしい。
- ・ 統合時のスクールバスや放課後児童クラブが心配。



# 小学校統合についての検討案

案A：現在の計画

R8

①西根小・三泉小

②高松小・醍醐小・白岩小

R14

新校舎

①と②の統合小学校

案B：中学校統合後（R14を目途に）

西根小・三泉小・  
高松小・醍醐小・白岩小

新校舎 5校統合小学校

案C：中学校統合後（R14を目途に）

西根小・三泉小

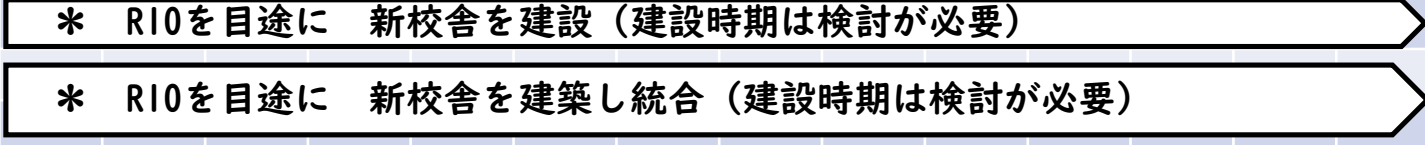
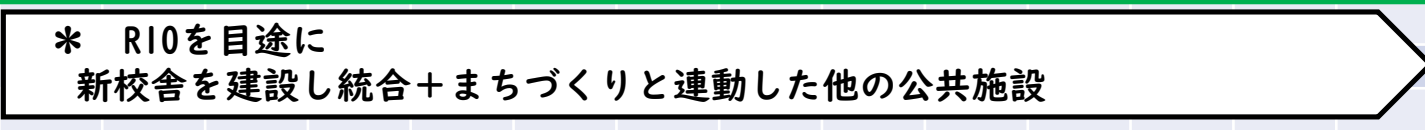
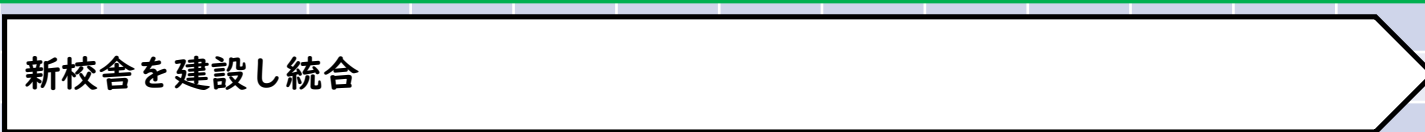
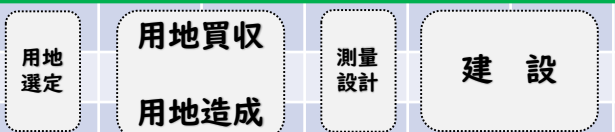
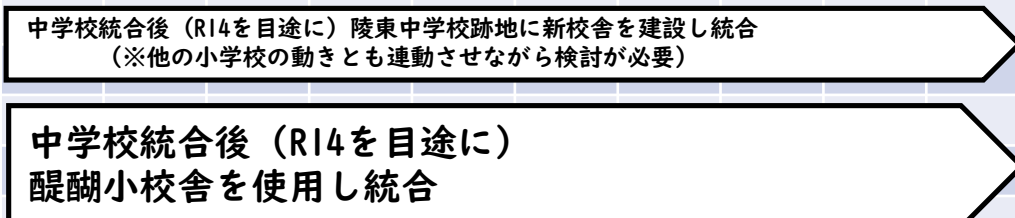
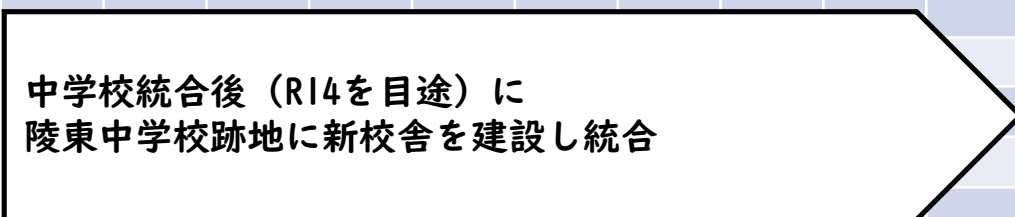
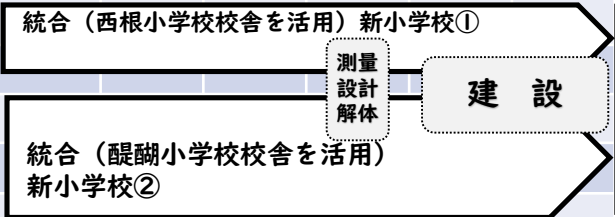
高松小・醍醐小・白岩小

新校舎 2校統合小学校

醍醐小校舎 3校統合小学校

# 学校施設整備計画 ロードマップ〔検討案〕

(校舎築年数) R 4 現在		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19	令和20	令和21	令和22	令和23										
		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041										
現在の計画	西根小 (44年)																														
	三泉小 (31年)																														
	高松小 (41年)																														
	醍醐小 (19年)																														
	白岩小 (39年)																														
		統合（西根小学校校舎を活用）新小学校① 測量設計解体 建設										統合（醍醐小学校校舎を活用）新小学校② 建設										陵東中学校跡地に新校舎を建設し統合									
案A	西根小 (44年)																														
	三泉小 (31年)																														
	高松小 (41年)																														
	醍醐小 (19年)																														
	白岩小 (39年)																														
案B	西根小 (44年)																														
	三泉小 (31年)																														
	高松小 (41年)																														
	醍醐小 (19年)																														
	白岩小 (39年)																														
現在の計画	陵南中 (48年)																														
	陵東中 (52年)																														
	陵西中 (46年)																														
	陵南中 (48年)																														
	陵東中 (52年)																														
案A	陵西中 (46年)																														
	陵南中 (48年)																														
	陵東中 (52年)																														
案B	陵南中 (48年)																														
	陵東中 (52年)																														
	陵西中 (46年)																														



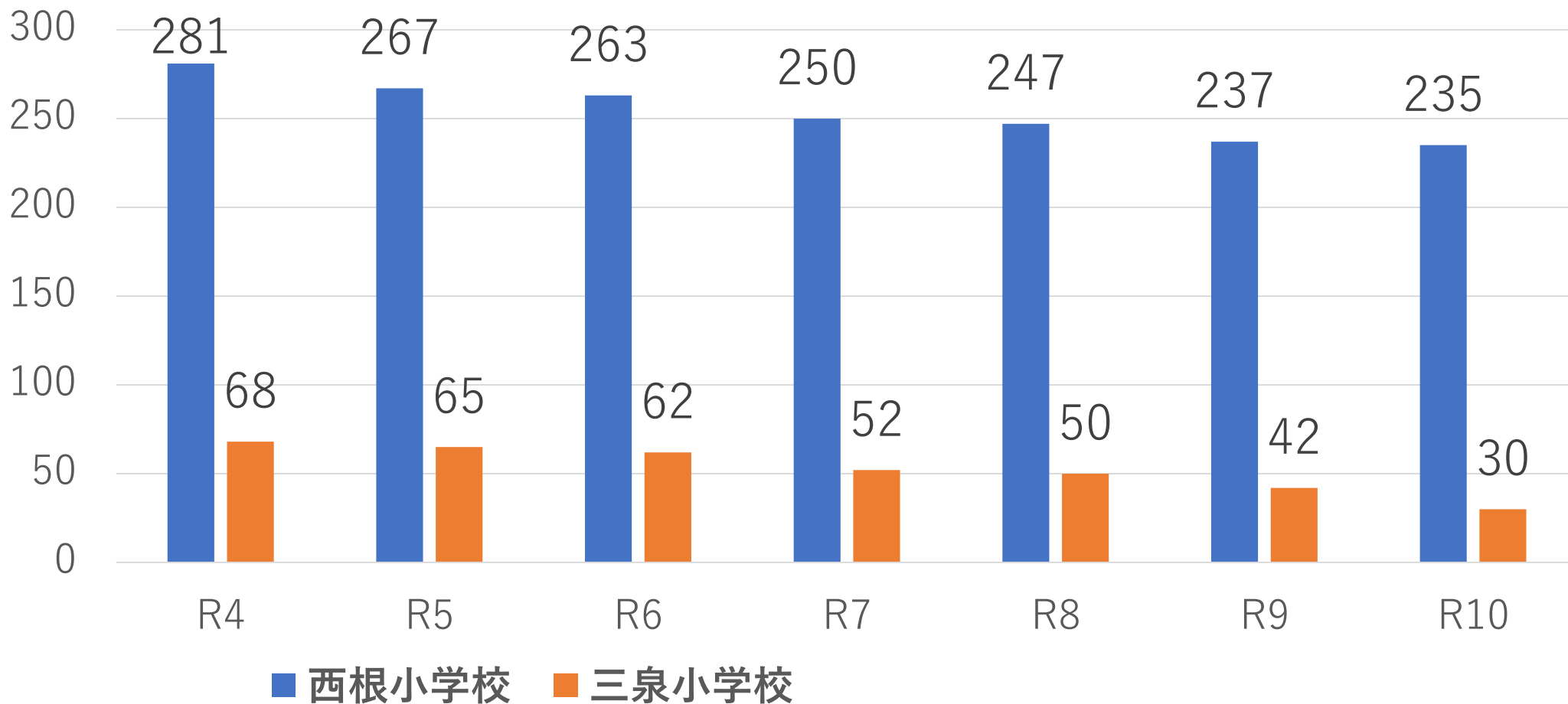
# 統合時期について

令和4年度現在小学校2年生の児童は、小学校・中学校で統合を経験する。

寒河江市学校施設整備計画(西根小・三泉小／高松小・醍醐小・白岩小) 統合予定一覧〔令和4年8月現在〕

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
統合予定年度⇒					小統合		中統合				小再統合					
R16年度1年生													小1	小2	小3	小4
R15年度1年生												小1	小2	小3	小4	小5
R14年度1年生											小1	小2	小3	小4	小5	小6
R13年度1年生										小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1
R12年度1年生									小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2
R11年度1年生								小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R10年度1年生							小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
R9年度1年生						小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
R8年度1年生					小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3			
R7年度1年生				小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3				
R6年度1年生			小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3					
R5年度1年生		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3						
R4年度1年生	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3							
R4年度2年生	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3								
R4年度3年生	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3									
R4年度4年生	小4	小5	小6	中1	中2	中3										

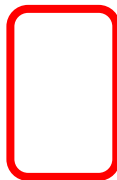
# 西根小学校・三泉小学校の児童数の推移



出典：令和4年度学区別調査票 寒河江市の年齢別人口調べ

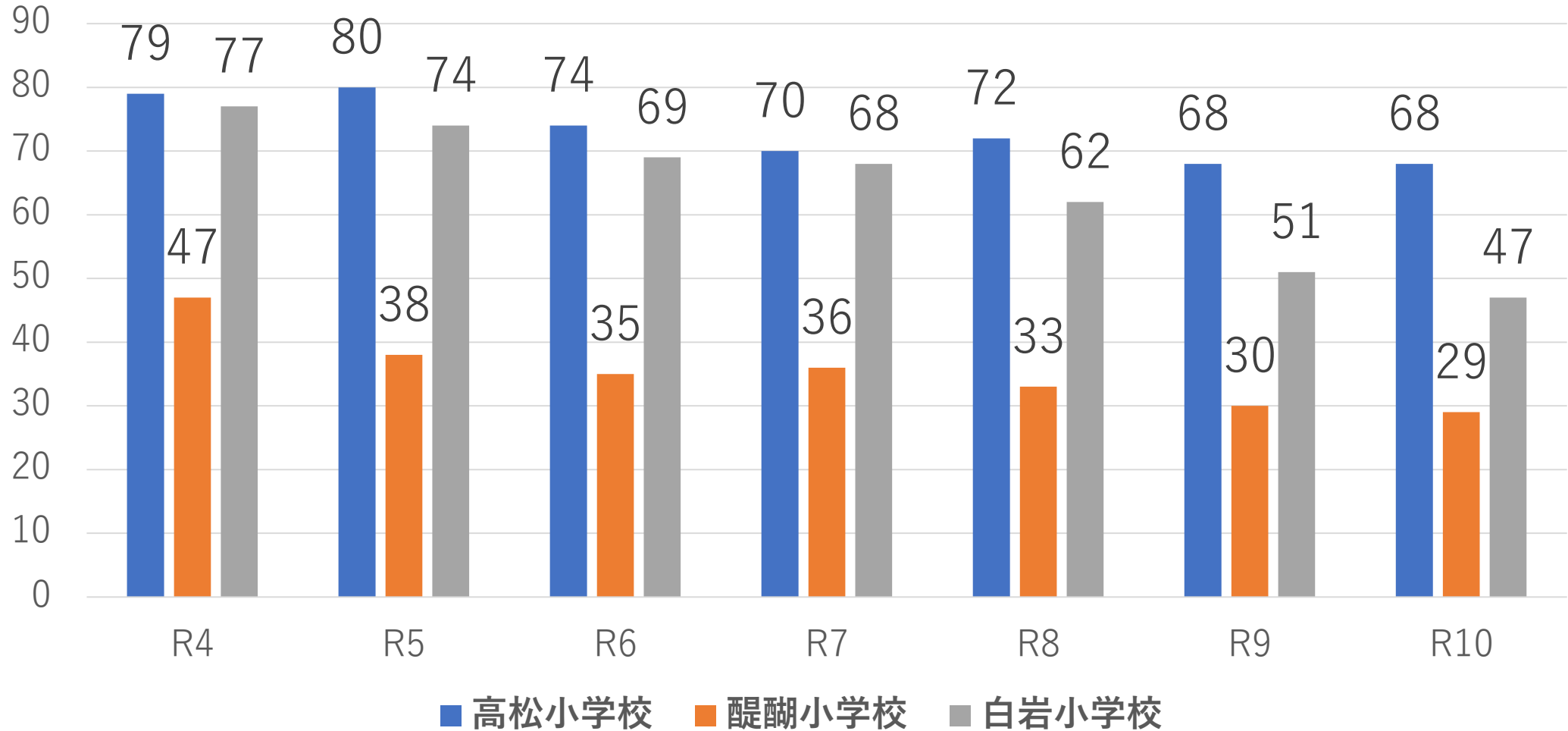
推計手法：令和4年度時点における1～14歳の各歳人口を、令和5年度以降の各歳人口とみなして（転出入や死亡による人口の増減を考慮しない）推計したもの。これより先のスライドには同じ出典元からの数値が使われます。

# 西根小学校・三泉小学校の学年毎の児童数の推移

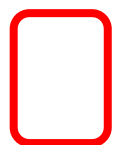
 は、複式学級

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
西根小学校	1年生	37	47	41	38	39	35	35
	2年生	45	37	47	41	38	39	35
	3年生	42	45	37	47	41	38	39
	4年生	51	42	45	37	47	41	38
	5年生	45	51	42	45	37	47	41
	6年生	61	45	51	42	45	37	47
三泉小学校	1年生	16	4	7	2	9	4	4
	2年生	12	16	4	7	2	9	4
	3年生	11	12	16	4	7	2	9
	4年生	12	11	12	16	4	7	2
	5年生	10	12	11	12	16	4	7
	6年生	7	10	12	11	12	16	4

# 高松小学校・醍醐小学校・白岩小学校の児童数の推移



高松小学校・  
醍醐小学校・  
白岩小学校の  
学年毎の  
児童数の推移



は、複式学級

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
高松小学校	1年生	12	15	12	7	14	8	12
	2年生	12	12	15	12	7	14	8
	3年生	12	12	12	15	12	7	14
	4年生	11	12	12	12	15	12	7
	5年生	18	11	12	12	12	15	12
	6年生	14	18	11	12	12	12	15
醍醐小学校	1年生	8	2	7	6	4	3	7
	2年生	6	8	2	7	6	4	3
	3年生	7	6	8	2	7	6	4
	4年生	5	7	6	8	2	7	6
	5年生	10	5	7	6	8	2	7
	6年生	11	10	5	7	6	8	2
白岩小学校	1年生	7	12	10	12	5	5	3
	2年生	16	7	12	10	12	5	5
	3年生	11	16	7	12	10	12	5
	4年生	13	11	16	7	12	10	12
	5年生	15	13	11	16	7	12	10
	6年生	15	15	13	11	16	7	12

## (4) 中学校の「1校案」に対して、「2校案」の検討

- ・「1校案」は、生徒数が千人規模で大きすぎる
- ・建設予定地、予算は？

学校施設整備計画で1校案とした理由は、

1. 2校に統合した時に、年数を経過するに従い、現在の陵東中と同等の生徒数となり、R13には、統合校の生徒数が400人を切り、陵南中との不均衡が生じる懸念がある。統合時の生徒数だけでなく、その10年先、20年先の生徒数の減少を見据えたため。
2. 教育資源等を1つに集中し、より安全安心で、より優良な教育環境を構築していくため。



- ⇒ \* 市内3中学校のPTA役員による検討会の実施  
\* 教育委員会だけでなく関係各課と協議していく

(これまでの説明会等でのご意見)

- ・ 1校で、資源を集中し、最新の教育環境の下で学ばせたいので賛成。
- ・ 1校にして、他市町からも人が来るような、すごくいい学校を作ってほしい。
- ・ 1校案の大きな学校だといろいろな人との出会いが期待でき、成長できる。
- ・ 1校案だと、部活動の数が増え、選択肢が増えるので賛成。
- ・ 2校案は財政面で大変。その負担が将来を担う子どもたちになるのは不安。
- ・ 1校だと、子どもたちに目が行き届かなくなるので、いじめや不登校が多くなりそうなので2校のほうがいい。
- ・ 1校案では、行事などする時に、人が多くて大変ではないか。
- ・ 1校案では、1000人規模の学校にする必要性がわからないので反対。
- ・ スクールバスがあっても、冬場は渋滞の原因になるので1校案には反対。
- ・ 2校案だと、様々な活動や部活動等で、競い合い、向上心を促すことができるので賛成。
- ・ 中学校を1校にすると西村山地域の中学校と格差が広がる気がするので反対。
- ・ 中学校3年時の統合は、修学旅行や受験があり不安を感じる。

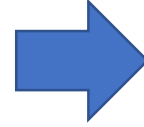
子どもたちにとって最適な学習環境、今後の児童・生徒数の推移、財政上の課題、市全体のまちづくりの問題等を総合的に考慮し、学校の配置や中学校のあり方及び公共施設の配置等について検討しています。

# 中学校統合についての検討案

案A：現在の計画

R10

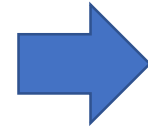
陵東中・陵南中・陵西中



**新校舎** 3校統合中学校

案B：R10を目途に

陵東中・陵南中・陵西中



**新校舎**

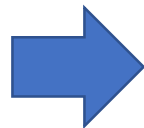
3校統合中学校



まちづくりと連動した  
他の公共施設

案C：R10を目途に（建設時期については検討が必要）

陵東中・陵西中



**新校舎**

2校統合中学校

陵南中

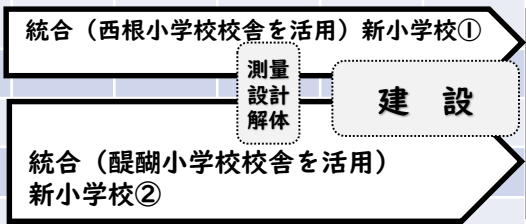


**新校舎**

陵南中学校

# 学校施設整備計画 ロードマップ〔検討案〕

(校舎築年数) R4現在		令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19	令和20	令和21	令和22	令和23	
		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	
案A	西根小 (44年)																					
	三泉小 (31年)																					
	高松小 (41年)																					
	醍醐小 (19年)																					
	白岩小 (39年)																					
		統合（西根小学校校舎を活用）新小学校① 測量設計解体 建設										統合（醍醐小学校校舎を活用）新小学校②										
		陵東中学校跡地に新校舎を建設し統合																				
案B	西根小 (44年)																					
	三泉小 (31年)																					
	高松小 (41年)																					
	醍醐小 (19年)																					
	白岩小 (39年)																					
案C	西根小 (44年)																					
	三泉小 (31年)																					
	高松小 (41年)																					
	醍醐小 (19年)																					
	白岩小 (39年)																					
案A	陵南中 (48年)																					
	陵東中 (52年)																					
	陵西中 (46年)																					
案B	陵南中 (48年)																					
	陵東中 (52年)																					
	陵西中 (46年)																					
案C	陵南中 (48年)																					
	陵東中 (52年)																					
	陵西中 (46年)																					



陵東中学校跡地に新校舎を建設し統合

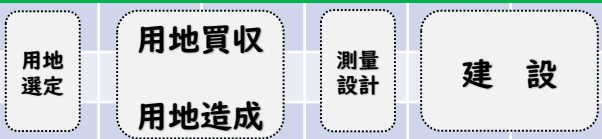


中学校統合後（R14を目途）に  
陵東中学校跡地に新校舎を建設し統合



中学校統合後（R14を目途に）陵東中学校跡地に新校舎を建設し統合  
（※他の小学校の動きとも連動させながら検討が必要）

中学校統合後（R14を目途に）  
醍醐小校舎を使用し統合



新校舎を建設し統合



\* R10を目途に  
新校舎を建設し統合+まちづくりと連動した他の公共施設



\* R10を目途に 新校舎を建設（建設時期は検討が必要）

\* R10を目途に 新校舎を建築し統合（建設時期は検討が必要）

# 中学校を1校に統合した場合

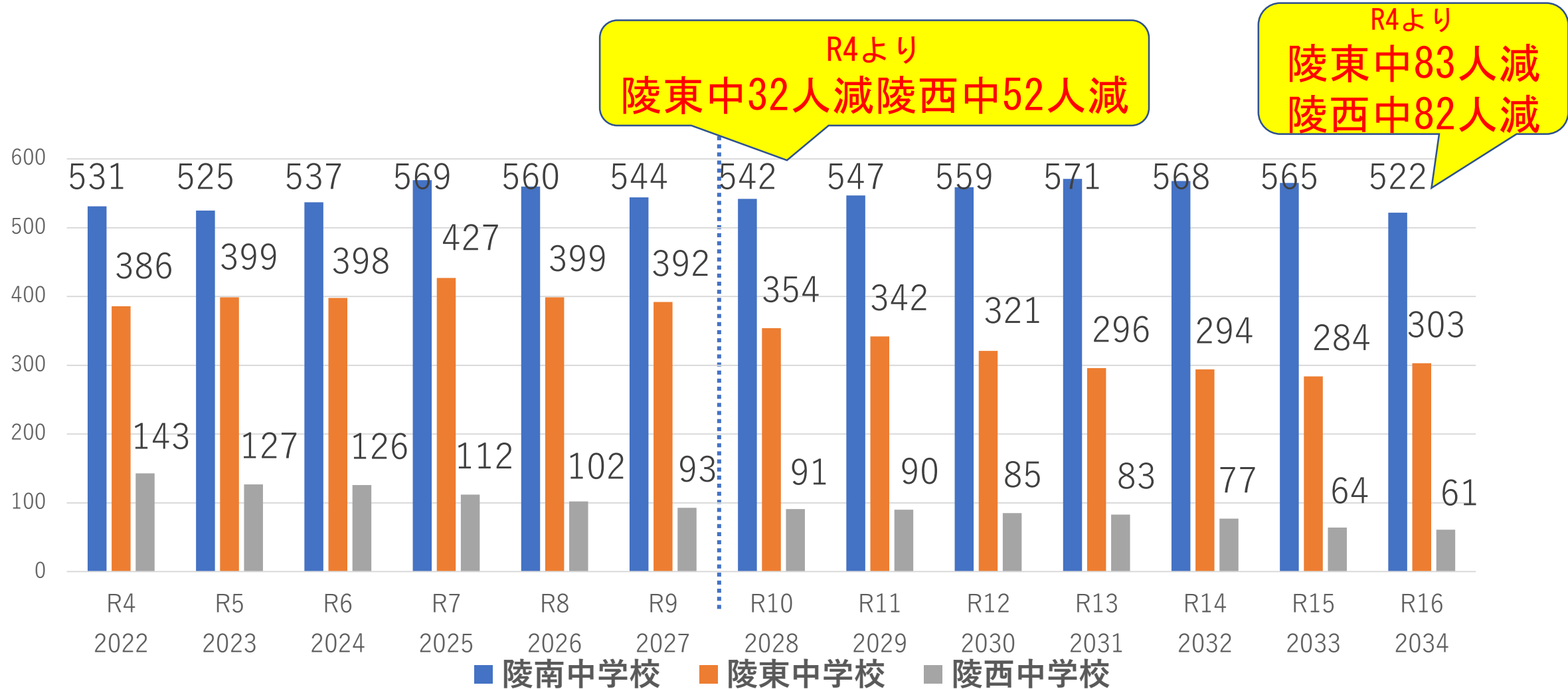
- メリット
- 市内全生徒に均質で統一した学校環境を提供できる。
  - 地元の寒河江高校と寒河江工業高校とのつながりを深め、進学やキャリア教育などの連携強化に取り組みやすい。
  - 部活動の選択肢が増え、ニーズに応じた活動が可能になりやすい。
  - まちづくりの観点と連動しながら、他の公共施設と学校とが一体化した複合施設の建設を検討することができる。
  - 各教科の専門教員が増え、各教科の研修の機会が増える。教員の専門性が磨かれる。
- デメリット
- 生徒の人数が増え、生徒間の人間関係が希薄化する場合がある。
  - 学校行事等において、係や役割分担のない生徒もでる場合があるなど、一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある。
  - 通学距離が長くなったり、スクールバスの利用が必要となる生徒が増える。特に冬期間の通学について心配される。

# 中学校を2校に統合した場合

- メリット
- 統合後は各学年4～5学級で生徒間の人間関係も作りやすい。
  - 統合後の生徒数が、現在と同程度または、少し増加するので、統合前と比べ、変化が少ない学校生活を送ることができる生徒が多く、心理的な負担が軽減される。
  - 多くの生徒が徒歩ないし、自転車<sup>①</sup>で通学することができる。
  - スクールバスの運用にあたり、バスの台数が少なく<sup>②</sup>て済む。
  - 市内に2つの中学校があることで競争心が醸し出される。
  - 2校にすることで、災害時にリスクを分散<sup>③</sup>することができる。
- デメリット
- 1度に2校の改築は財政面での負担が大きい。
  - R13には、2校間（陵南中と陵東中+陵西中）での生徒数の格差が大きくなり、不均衡が生じる懸念がある。
  - 生徒数の減少により、教科によっては専門の教員の数<sup>④</sup>が十分とは言えなくなる場合が考えられる。

※ 1学級の人数は、大規模校も中規模校も差はありません。〔33人学級〕 22

# 3中学区の生徒数の推移



※令和4年4月4日現在の児童数及び令和4年7月4日現在「学区別調査票」による

# 統合中学校の生徒数の推移

6年間で  
101人減

		R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1校案	3校統合校	987	979	965	950	939	913	886	
2校案	A校(陵南中)	542	547	559	571	568	565	522	
	B校 (陵東中+陵西中)	445	432	406	379	371	348	364	

158人差

※R4年度（R17年度に中学1年生）の出生届け出数は、4月から9月まで129名で前年比－54名



# R10 中学校の生徒数・教職員数の見込み

	生徒数	学級数	教職員数見込み
3校統合校	987	35 通常30+特支5	60 担任外25
陵南中学校	542	20 通常18+特支2	39 担任外19
陵東中+陵西中	445	17 通常15+特支2	31 担任外14

## 担任外の教員の役割について

例：通級指導（通常指導学級で学ぶ生徒等の学習上・生活上の困難を改善する指導）

サブティーチャー（数学等でチームティーチングを行う際の教員）

特別な支援を要する生徒への対応（集団への不適應など）

個別対応（特定の教科の理解に時間を要する生徒・日本語指導が必要な生徒への対応等）

専門教科の指導 等

# 現在の中学校の敷地面積と生徒数等

	敷地面積	生徒数(最大)	生徒数(現在)
陵東中	30,653m <sup>2</sup>	643人(S43)	386人
陵南中	42,159m <sup>2</sup>	885人(S51)	531人
陵西中	28,871m <sup>2</sup>	437人(S52)	143人
参考・河北中	51,762m <sup>2</sup>	963人(H4)	444人
参考・高畠中	73,929m <sup>2</sup>	679人(H28)	624人

\* 高畠中の敷地面積は防災拠点施設含む

# 統合中学校の建設について

\* 計画では、市内3中学校を統合し（1校案）、新中学校を建設し、その後、陵東中の跡地に統合小学校を建設する予定ですが、建設予定地については、様々なご意見があることから現在検討中です。必ずしも今年度中に決まらないこともありうる状況です。なお、学校と他の公共施設との複合化も選択肢の一つとして検討しています。

2校案の場合は、陵南中（現在49年目）の新校舎建設と陵東中（現在53年目）と陵西中（現在47年目）の統合中学校の新校舎の建設（陵東中跡地）が必要となります。その場合、新たに統合小学校の用地選定が必要となる見込みです。

参考資料〔高畠町立高畠中・平成28年開校〕

	開校時生徒数	建設費 (グラウンド等含む)	用地取得費	合計
高畠中	679人(24学級・H28)	48.8億円	1.76億円	50.56億円

# 説明会等でいただいたご意見・ご心配な点等について

## ①どんな子どもたちを育てたいのか。

ア. 令和3年1月中央教育審議会から「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」答申より

学校教育で育むべき資質・能力について

「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要」とする。

# イ. 第2次寒河江市教育振興計画基本目標

ふるさとを愛し、

寒河江から夢のある未来を切り拓く人づくり

～共に学ぶ ともに育む～

ふるさと寒河江を愛する心を持ち、

様々な変化も予想される社会の中で、

夢のある未来を切り拓いていくたくましい人

共に学び、共に育みあえる社会を作り上げられるように。

## ウ. 現在の主な取り組み

### 〔ふるさとへの愛情と誇りを育む教育の推進〕

- ・ 地域の歴史や文化、自然を活用した教育活動

ふるさと学習 地域探訪 伝統芸能 地域の方を先生とした体験活動

### 〔学びの充実と確かな学力の育成〕

- ・ 学ぶ力を高める教育の推進と自己肯定感を育む教育活動

授業改善のための研修 多様な学びの場の設定 各種調査等の活用

### 〔キャリア教育の推進〕

- ・ 社会的・職業的自立に向けた学習や体験活動

さがえっこライフデザインセミナー さがえ未来コンソーシアム 職場体験学習

### 〔特別支援教育や教育相談機能の充実〕

- ・ 一人ひとりが自分のよさを生かし、力を発揮するために

幼稚園・保育所等との連携 特別支援コーディネーター等の校内体制の強化  
教育相談の配置 外部機関との連携強化

## ウ. 現在の取り組み

### [グローバル化に対応した教育]

- ALT（5名）、AET（1名）

小学校3・4年生 外国語活動      小学校5・6年生 外国語の学習支援  
中学校 英語の学習支援

- 日本語指導支援員1名 ー外国からの編入児童生徒への日本語の支援
- GTECの活用（読む、聞く、話す、書くの4技能をスコア型試験）
- English Day      終日英語だけで過ごす取り組み

### [ICTに係る取組み等]

令和2年度      1人1台タブレット導入（家庭学習にも活用）

電子黒板、大型モニター等導入（R5年度で普通教室に1台設置）

令和3年度      さくら連絡網導入      欠席等の連絡、健康チェック

# 今後想定される学習環境

## 01 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間において、紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていく姿

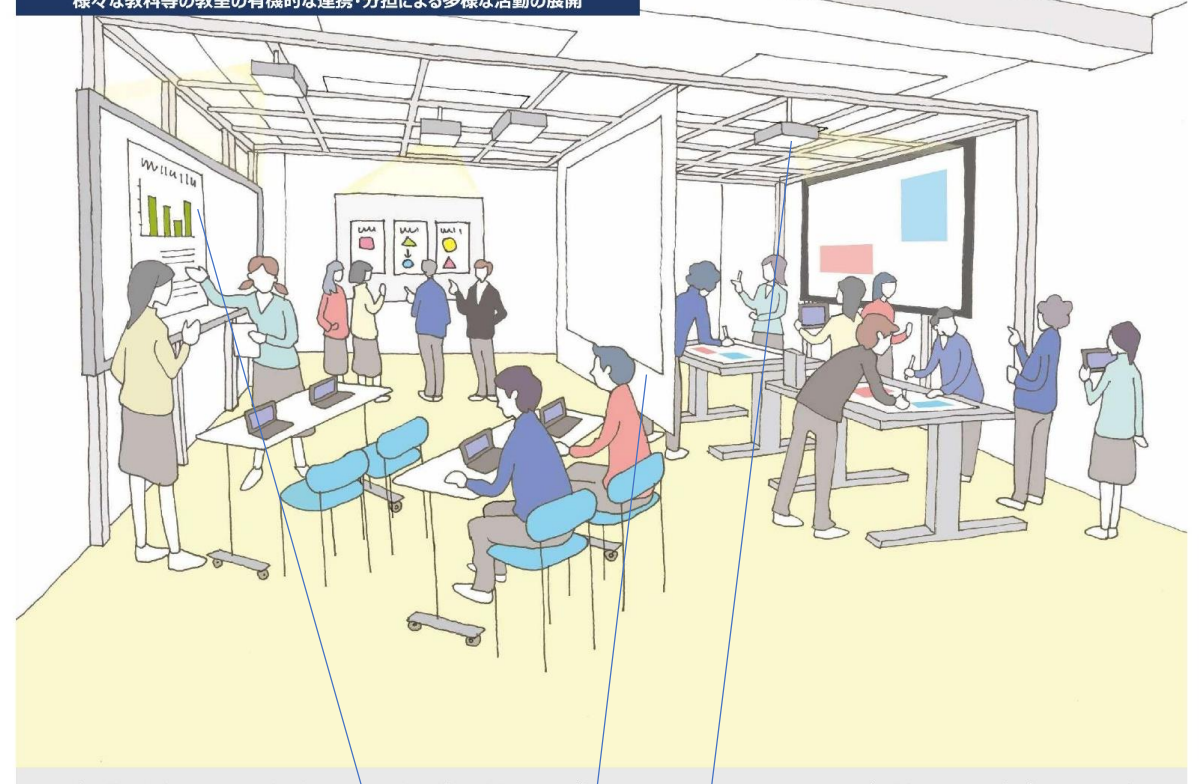
46

複数の大型スクリーン  
児童の手にはタブレット

出典：文部科学省  
「新しい時代の学びを実現する学校施設  
のあり方について」最終報告より

## 04 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

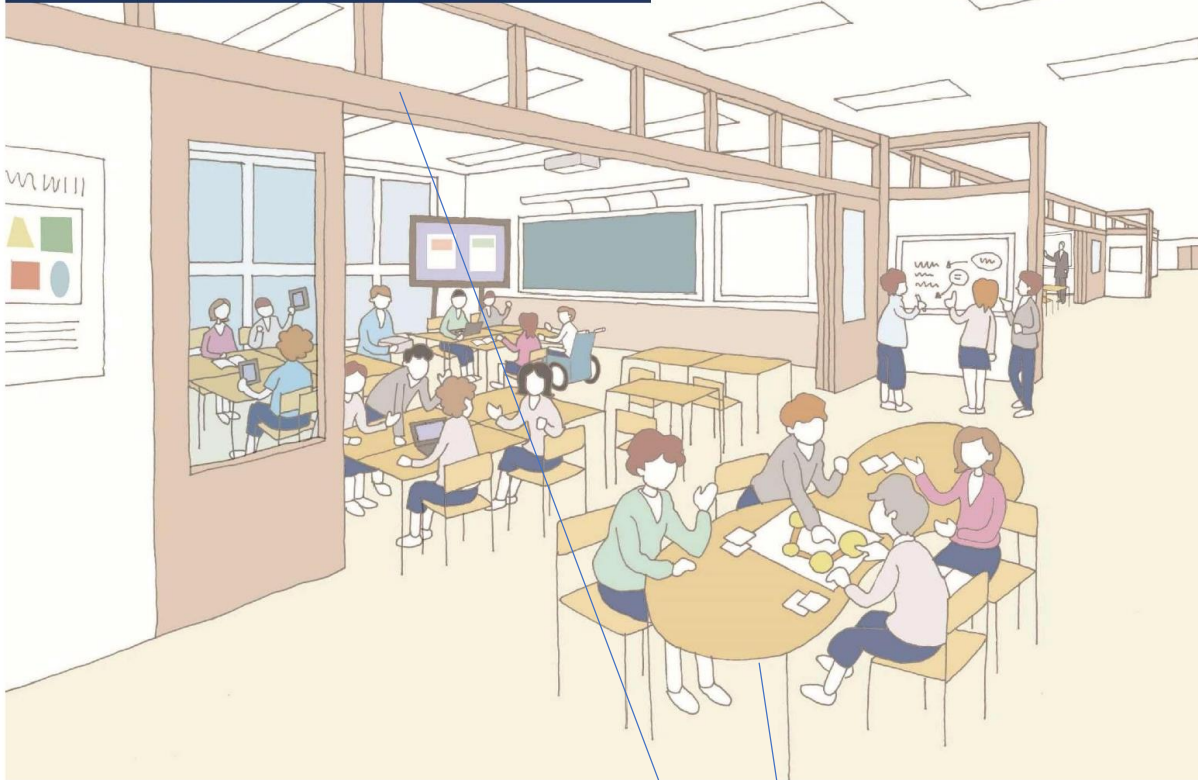
移動式の仕切り  
壁面のスクリーンと  
複数のプロジェクター



# 今後想定される学習環境

## 02 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間と隣接する多目的スペースとの連続性・一体性を確保し多様な学習活動へ柔軟に対応していく姿

教室の仕切りは移動式  
教室の外でも学習

## 06 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



学校施設全体を学びの場として捉え、階段状の空間を、ステージやプロジェクタ等を備えた発表・表現の場としていく姿

階段状のスペースで発表会  
プロジェクタも設置

## ②いじめへの対応について

寒河江市は、「いじめ防止対策推進法・第12条」に基づき、国及び県の基本方針を踏まえ、寒河江市いじめ防止基本方針を策定しています。

### 寒河江市いじめ防止基本方針の目的

子どもの尊厳を保持するため、いじめ防止、早期発見、いじめへの対処などに関する本市の基本方針を策定し、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することで、市全体としていじめ問題に取り組むことを目的とします。

**各小・中学校でも、いじめ防止基本方針を設定しています。**

## 現在の取り組み

- いじめアンケート調査による実態把握。年2回実施。
- 積極的ないじめの認知。
- 解消率を高める。
- 教員同士の情報交換で気になる児童・生徒の情報を共有する。
- 警察の担当の方を講師に招き、ネットやオンラインゲーム、SNSの使い方で気を付けることについて話を聞く。
- ICTリテラシーが高い児童・生徒を育てる。

## 今後の取り組み

- 様々なストレスが子どもたちの行動に繋がっていることを認識し、子どもたちのストレスの軽減に努める。
- 校舎のつくりを工夫し、死角が少なく、くつろげるスペースがあるような、ストレスがかかりにくい、ゆとりのある校舎を目指す。

## ②不登校の対応について

〔現在の取り組み〕

- 不登校予防担当者会 年2回
- 不登校予防研修会 年6回

(対象は低学年担任。不登校は年々、低年齢化している。)

- 子どもふれあいサポーターの配置 寒河江市1名 外部との連絡調整
- 寒陵スクール 教育相談員3名 訪問支援員2名 年間600件の相談に対応
- スクールカウンセラー 各中学校に1～2名
- 学力向上支援員 各小・中学校に1名(12名)

### ③複式学級について

複式学級は、2つ以上の学年を合わせて16人以下の場合に複式学級となり、1つの学級で2学年以上が入って編制する学級のことです。

メリット ・一人一人の学習状況などを**的確に把握**し、きめ細やかな指導が行いやすい。

- ・様々な活動で、一人一人が**リーダーを務める機会**が多くなる。
- ・**児童生徒が相互に学び合う**活動を充実させることができる。

デメリット ・**切磋琢磨する機会**が少ない。授業に制約ができる。

（集団的な活動の制限。体育では、球技などがしづらい。）

- ・**人間関係が固定化**される。（トラブル時に回避しにくい。）
- ・教員の授業準備の**負担が大きい**。（1時間に2学年分の授業の実施）
- ・現在から、更に人数が減った時に、**学び合いが難しい**。

# 複式学級の授業の様子

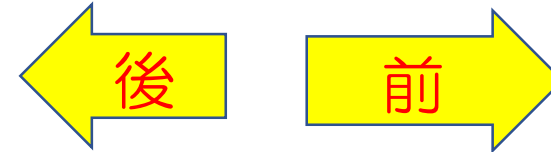
複式学級での授業風景

別の学年

HP掲載のため写真を削除しております。

複式学級では、一人ひとりの様子を見取ることができます。

複式学級での授業風景（教室の前後で学年を分けています。）



HP掲載のため写真を削除しております。

5人

4人

複式学級では、1時間で、教師が2学年、2教科分の授業をします。

# 学区再編について

～あり方検討委員会答申より～

○小学校における学区のあり方

検討委員会では、学校の統合を進めるが、学区の再編については慎重な意見もあることから、小学校においては、当面の間、現行の学区を分けることなく～

という答申を受け、学区再編は本計画では行わない方針で進めている。

# 学校の跡地利用

田代小学校統合時に検討された案

- 例：①歴史記念館  
②冬季間滞在施設  
③合宿所  
④食事処  
⑤セミナーハウス  
⑥アトリエハウス 等

他市町村の事例より

- 例：①コワーキングスペース  
②カフェ・食堂  
③レンタルオフィス  
④児童遊戯施設（体育館）  
⑤シルバー人材センター事務所  
⑥分譲地（グラウンド） 等

跡地の利活用については、避難所としての活用も含め、地域の方と話を進めながら、考えていく方針です。



## ④特別支援学級について

特別支援学級とは、

知的学級、自閉・情緒学級、肢体不自由学級、病弱学級 等

### 現在の取り組み

児童・生徒の実態に応じて、授業を組み（オーダーメイドに近い）、交流学級での学習も大切にする。（インクルーシブ教育の観点）

例：主に、特別支援学級で学習し、教科によっては、交流学級で学習をする。

### 今後の取り組み

#### 専門性の高い教員の配置

特別支援の免許を持ち、経験や専門的知識の高い教員を配置し、個に応じた指導の充実を図る。

#### 特別教育支援員の配置

特別支援学級に在籍の児童・生徒に対して個別の配慮が、より一層できるようにする。

## ⑤通学方法について

通学距離は、小学校は概ね4km以内、中学校は概ね6km以内であることが適正とされている。

(※義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令)

寒河江市では、児童生徒が安全安心に登下校できるようにスクールバスの運用についても検討している。

小学校が統合され通学する学校が変わる場合は、スクールバスの運用を検討する。また、中学校では、下校時間には、2回に分けて運行することも検討する。

例：陵西中では、部活が終わった3年生と部活を行う1・2年生とでは、下校のバス時間を変えて運行している。

## ⑤通学方法について

高畠中の場合

1 km以上は、自転車通学。

4 km以上はバス通学。

各地域の公民館分館を起点とし、距離を計測する。

通常2往復行ってる。朝7時前の出発は避けて計画。

寒河江市の場合

1校案か2校案でスクールバスの台数は変わる。

1校案の建設予定地によっても、バスの台数は変わる。

## ⑥統合前の準備について

統合は、児童生徒にとってストレスが予想される事業である。できる限り**ストレスの軽減**に努める。

統合前の準備として、**交流計画**を立てる。

- 統合前、数年をかけて、交流を図る。
- 実際の交流（レクリエーション・授業・遠足を合わせる等）、リモートでの交流、互いの地域の特色を知ること大切にする。

# 統合前の交流について

統合後の学校生活をよりリアルにイメージできるように。

白岩小学校と幸生小学校の交流の事例より

1学期：宿泊体験学習も合同で参加（5年生）

2学期：3日間連続しての学校生活

3学期：1週間連続しての学校生活

朝の登校から、授業・給食・休み時間・下校

統合先のプログラムに沿って行う。

統合する学校同士の連携・協力体制が重要となる。

## ⑦放課後児童クラブについて

現在の放課後児童クラブは、

- 学校内に設置されている。
- 学区内に設置されている。

担当は、子育て推進課となっている。

今後、「子ども・子育て支援推進会議」を開催して、放課後児童クラブや保育所について広く検討する。

「学校が統合しても学童は残してほしい。」などのご意見やご要望等は伝えている。

## ⑧中学校の部活動について

- 今後の部活動については、「寒河江市立中学校部活動の地域移行に関する検討会議」で検討を始めている。
  - 中学校の部活動は任意加入に向けて動き始める。
  - 平日の活動は、学校での部活動を継続する。
  - 土日は部活から、地域のクラブ等の活動へ移行していく。令和5～7年の間に。
  - 土日のクラブの活動等への参加には、経費（受益者負担）が発生する。
  - 土日の活動は、学区を越えて参加となる場合もある。
- ※様々な課題があり、課題を整理中です。

## ⑨コミュニティ・スクールについて

- 現在、寒河江市内のすべての小中学校にコミュニティ・スクールが導入されている。
- 学校運営協議会を主体として、学校と地域の課題を話し合い解消していく。
- 学校運営協議会は、保護者代表・地域住民・地域コーディネーターなどの方で構成されている。
- 話し合われる内容は、郷土愛の醸成、地域の活性化、学校と地域の連携協働など多岐にわたる。
- 地域コーディネーターは、総合的な学習の時間の講師の依頼や、ライフデザインセミナーの講師選定や依頼など、学校と地域をつなぐ大切な役割。



# ⑨コミュニティ・スクールについて

- 統合する学校同士で話し合い、より良い教育課程を作り上げる。
- 下の表は3年生以上で取り組んでいる総合的な学習の時間の一覧。

	西根小	三泉小	醍醐小	高松小	白岩小
3年	寒河江のよさを知らせよう (サクランボ・慈恩寺・祭り・食等)	地域、 伝統文化(サクランボ)	めざせじおん寺はす博士 醍醐のとんと昔はかせ	サクランボの栽培	田代・白岩地区の自然 職業体験
4年	①エコにチャレンジ(水、電気など) ②寒河江を災害から守ろう (防災)	国際理解、環境(鮭、寒河江川など)	醍醐のホタルや慈恩寺について学ぼう 自分の成長を振り返り二分の一成人を祝おう	慈恩寺・谷沢梅	幸生・白岩地区の自然 幸生地区炭焼き体験 発電所・電気川・実沢川 職業体験
5年	地域の宝を未来につなごう (豊年太鼓・伝統行事・文化・芸・食等)	情報 食育 米(田植え・稲刈り等)	米作りの体験活動や調べ学習を通して、醍醐地区への興味・関心を深めよう 日和田弥重郎花笠田植え踊り	米作り	米作り(田植え・草取り・稲刈り・収穫感謝祭など) TASSHO宿泊学習 白岩の歴史等
6年	①未来プロジェクト(職業体験・講話) ②地域のためにできること (福祉活動)	キャリア(キャリアアップ) 福祉・健康	慈恩寺ガイド	下の学年との交流、 キャリア教育、 職場体験、 たかまつ保育所	白岩の歴史(白岩城・白岩義民・三山電車・宿場町・幸生銅山) 白岩地区の自然